ヤマト運輸　安全の取り組み

2026年 11月 11日

ヤマト運輸株式会社　安全部　植田 順一

目次

0_会社概要

1_安全に対する基本的考え方

2_安全対策の全体像

3_全社統一の教育カリキュラム

4_ドライブレコーダーを用いた安全教育

5_ITを活用した点呼システム

6_安全記録管理のシステム化

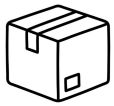
7_永年無事故運転者表彰制度

8_地域貢献 こども安全教室

9_社員の安全意識や技量を競う場～第13回ヤマトグループ全国安全大会～

Copyright 2026 Yamato Holdings Co., Ltd. All rights Reserved

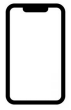
0_会社概要



宅急便 年間取扱個数
約23億個
※2026年3月期実績



国内宅急便ネットワーク
カバー率
100%



クロネコメンバーズ会員
約6,000万人



社員数
約17万人



セールスドライバー
5.3万人



法人向け拠点数
約400拠点

ラストマイル集配拠点数
約2,700拠点



車両数
約44,000台

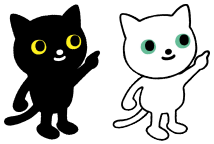
「宅急便」は1976年1月20日に誕生し
2026年に**発売50周年**を迎えました。

※いずれも2026年3月現在

Copyright 2026 Yamato Holdings Co., Ltd. All rights Reserved

1_安全に対する基本的考え方

当社は車両保有台数が多く、公共の道路を使用させていただき事業を営んでおります。
そのため、地域の安全確保は重要な責務であると考えています。



企業姿勢
人命の尊重と安全の確保

企業理念
安全第一、営業第二

ヤマトグループの企業姿勢の一つとして「人命の尊重と安全の確保」を掲げ、
業務上のいかなる時も人命の尊重を最優先すべく「安全第一、営業第二」の理念を徹底しています。
協力会社や取引先に対しても「人命の尊重と安全の確保」の理念を共有し、あらゆる事業活動に
おいて安全が確保されるよう努めております。

ヤマトグループ企業姿勢＞3. 人命の尊重と安全の確保

ヤマトグループは、人命の尊重を最優先し、交通安全はもとより、安全な職場環境づくりに
取り組みます。

生活道路を活動の場として使わせていただいている私たちヤマトグループにとって、
地域で生活されている皆様の安全や安心の確保はなによりも優先されなければなりません。
ヤマトグループは、いかなるときでも、人命の尊重を最優先します。
そのために、交通安全はもとより、安全な職場環境の整備を含めた研究・研鑽に取り組みます。

Copyright 2026 Yamato Holdings Co., Ltd. All rights Reserved

2_安全対策の全体像

法令に基づく「運行・整備管理」を確固たる土台とし、
先進技術と安全文化で多層的に輸送の安全を確保

STEP 3. 文化・意識

安全意識と意欲の醸成
自発的な安全行動の定着

評価・モチベーション向上
永年無事故表彰制度（SD賞～ダイヤモンド賞）による称賛文化の醸成

技術競演・地域貢献
ヤマトグループ全国安全大会の開催
こども交通安全教室の実施

STEP 2. 先進・専門指導

IT活用と専門的指導
予防・未然防止の強化

IT・車載機データ活用
ドライブレコーダー映像および運転データによる運転可視化と振り返り

専門職「安全指導長」
全国約350名の専任指導員による巡回および個別の添乗指導、適性診断活用

法令に基づいた運行管理者・整備管理者の役割遂行が、ヤマト運輸の安全施策を「下支え」しています

STEP 1. 法定基盤（下支え）

確実なコンプライアンス
安全の出発点・土台

運行管理者による運行管理・教育
対面/IT点呼による厳格な点呼や、
確実な法定教育とフォローアップ

整備管理者による車両安全管理
日常点検徹底、法定点検(3・12ヶ月)の完全実施
予防整備とダブルチェック体制

Copyright 2026 Yamato Holdings Co., Ltd. All rights Reserved

2_安全対策の全体像

事業用車両ラインナップ　約44,000台

大型・中型車両

約2,000台

準中型・普通車両

約38,000台

軽車両

約4,000台







Copyright 2026 Yamato Holdings Co., Ltd. All rights Reserved

2_安全対策の全体像

運行管理者・整備管理者が中心となり、日々の運行と車両状態を厳格にコントロール

運行管理者による点呼・教育の徹底

✓ **スマート点呼・確実な点呼の徹底**
対面およびIT点呼システムを活用し、ドライバーの顔色・声の調子・酒気帯びの有無・疲労リスクを厳格に確認

✓ **法定教育と計画的指導**
新任・現任ドライバーに対する法令に沿った体系的教育を実施し、知識と安全意識の向上を継続管理

✓ **日々のコミュニケーション**
運行管理者が微細な体調変化や悩みを早期に察知し、ヒューマンエラーによる事故防止を達成





整備管理者による車両保守・予防整備

✓ **日常点検と法定定期点検の完全完遂**
乗務前日常点検のシステム化に加え、3ヶ月・12ヶ月の法定定期点検を100%確実に実施

✓ **ヤマトオートワークスとの強固な連携**
全国72ヶ所の専用工場（スーパーワークス等）と連携し故障前の「予防整備」を徹底

✓ **検査精度を高めるダブルチェック**
整備完了車の完成検査において自動車検査員によるダブルチェック体制を構築し、保安基準を徹底遵守





Copyright 2026 Yamato Holdings Co., Ltd. All rights Reserved

3_全社統一の教育カリキュラム

乗車する車両は関係なく、乗務職に就く全社員が同じ教育カリキュラムを受けており、
社内免許を取得した社員に限り乗務することができます。
その後も定期的な添乗指導、ドライブレコーダー映像教育、運転適性診断などを通じて
安全運転に磨きをかけていきます。
また、指導する側も専門職人事制度に基づき、有資格者が指導を行っています。

セールスドライバー教育カリキュラム

入社時研修（法定教育含む）
⇨ 社内免許取得
⇨ フォローアップ研修
⇨ 社内免許更新研修
⇨ 運転適性診断受診

管理者や安全指導長(※)による
・添乗指導
・ドライブレコーダー映像教育
・適性診断受診（3年ごと）

⇨

無事故表彰
・SD賞
・銅賞
・金賞
・ダイヤモンド賞
・無事故継続賞
・交通安全特別賞



(※)安全指導長とは
全国に約350名いる安全対策の専門職。
日々管下の営業所を巡回しながら、
法令遵守、個人の運転レベルの向上、
交通事故や労働災害防止の徹底に
取り組んでいる。

Copyright 2026 Yamato Holdings Co., Ltd. All rights Reserved

4_ドライブレコーダーを用いた安全教育

2019年のドライブレコーダー導入後、映像データに基づいた安全教育を重点的に推進し、
その結果、対人事故が大幅に減少しました。
従来、運転に関するデータは、定量的な指標のみに依存していましたが、
ドライブレコーダー搭載以降、映像を活用した運転行動の具体的な振り返りが可能となり
対人事故減少につながったものと推測しています。

当社で導入しているドライブレコーダーの特徴



車外と車内の2カメラ。
一定速度以上のときに、運転者の口が大きく開いた状態（＝あくび）を
車内のカメラが検知し、アナウンスで注意喚起

Copyright 2026 Yamato Holdings Co., Ltd. All rights Reserved

4_ドライブレコーダーを用いた安全教育

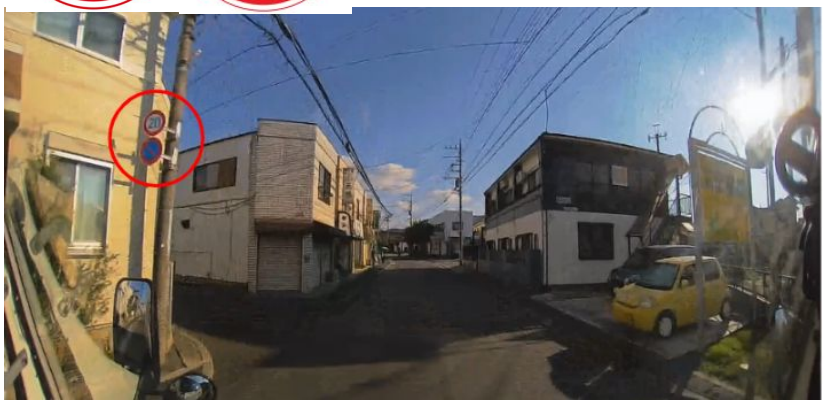
当社で導入しているドライブレコーダーの特徴







カメラが標識（一時停止、最高速度）を検知し
その際の速度状態により安全運転かどうかを判定。
必要に応じて、映像を当社サーバーに自動アップロード。



Copyright 2026 Yamato Holdings Co., Ltd. All rights Reserved

4_ドライブレコーダーを用いた安全教育

事故リスクの高い一時停止地点走行時の映像は、1日に最低1件、
サーバーに自動アップロードされ、乗務後点呼時に管理者と運転者が双方で
映像を確認しています。
映像は20秒程度で業務の負担とならないようにし、
日々の運用の中でスムーズに映像で運転を振り返ります。

● 映像確認時のポイント

- ✔ 一時停止、二次停止の状況
- ✔ 停止線手前で完全停止できているか
- ✔ 停止後に左右の安全をしっかり確認しているか
- ✔ 身体を動かして積極的に危険を探しているか

● ドライバーの声

- ✔ 客観視することで「やっているつもり」になっていたことに気付く
  例：一時停止場所で完全停止できていない
- ✔ 映像を見ることで納得感が得られ、改善意識が高まる
- ✔ 歩行者に道を譲っている映像があると、褒めてもらえてうれしい



タブレットで気軽に映像閲覧が可能

Copyright 2026 Yamato Holdings Co., Ltd. All rights Reserved

4_ドライブレコーダーを用いた安全教育

Step 01
走行する

その日のうちに

Step 02
映像を見る
記憶が新しいうちに確認

客観的に答え合わせ

Step 03
管理者との対話
映像を交えてコミュニケーション

対話から発見

Step 04
改善点に気付く
運転者の認識と実際の運転とのズレに気づく

翌日走行で改善！

Copyright 2026 Yamato Holdings Co., Ltd. All rights Reserved

5_ITを活用した点呼システム

システムを利用して日常点検・点呼を行うことで点検項目を完全なものにし、
・運行の安全性の向上　・乗務員とのコミュニケーション時間の創出
・コンプライアンスの遵守　を図っています。



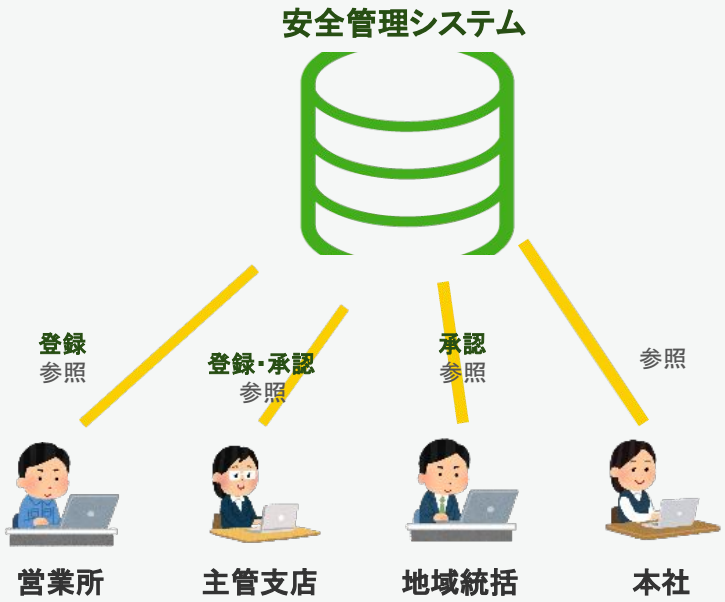
※マークがついている機能については、
導入時には利用がありません

Copyright 2026 Yamato Holdings Co., Ltd. All rights Reserved

6_安全記録管理のシステム化

事故情報およびドライバーの安全にかかわる情報をデータベース化して活用しています

・事故・労働災害発生状況および対応・届出状況の見える化
・事業所別の事故・労働災害発生状況（無事故記録）の確認
・過去の事故・労働災害報告の閲覧、事例研究



- **事故発生～解決までの管理**
  - 状況把握・対応の迅速化
- **無事故継続記録の累積**
  - 安全意識の向上・モチベーション維持
- **事故データの管理**
  - 再発防止に向けた傾向分析・対策立案
- **デジタル運転者台帳**
  - 乗務員の記録を活用した安全確保
- **その他管理機能**

・運転免許管理　・教育履歴管理

Copyright 2026 Yamato Holdings Co., Ltd. All rights Reserved

7_永年無事故運転者表彰制度

永年にわたり無事故を継続したドライバーを表彰する制度があり、
ドライバー全体のモチベーションを向上させています。

賞	無事故年数 又は　走行距離	2026年度 受賞者数
ﾀﾞｲﾔﾓﾝﾄﾞ賞	25年又は270万km	627人
金賞	18年又は190万km	1,446人
銀賞	8年又は80万km	2,584人
銅賞	5年又は50万km	1,896人
SD賞	2年又は20万km	1,203人
合計		7,756人

永年無事故運転者表彰





Copyright 2026 Yamato Holdings Co., Ltd. All rights Reserved

8_地域貢献 こども安全教室

子どもの交通事故防止を願い、地域の子どもたちに交通ルールや事故防止のための知識を伝えるため、1998年より全国各地で「こども交通安全教室」を実施しています





- 累計実施回数：33,499回
- 累計参加人数：3,569,799人

※2025年度ESGデータ報告より

Copyright 2026 Yamato Holdings Co., Ltd. All rights Reserved

9_社員の安全意識や技量を競う場

ヤマトグループの乗務員がプロドライバーとしての安全運転のレベルアップと
全社の安全意識や運転技術の向上を目的として、
車両を使用するグループ各社を対象に「ヤマトグループ全国安全大会」を開催しています。







【学科試験】



【日常点検整備】





【運転技能】

Copyright 2026 Yamato Holdings Co., Ltd. All rights Reserved

第13回 ヤマトグループ全国安全大会

開催日 **2026年10月19日（月）**

※学科試験は前日に実施

09:00 ～ 09:30 開会式

09:40 ～ 13:00 競技

・運転実技、日常点検整備

13:15 ～ 15:00 閉会式

競技部門 **全4部門にて実施**

- （1）入社 3年未満　部門
- （2）2tMPバン（AT車）部門
- （3）大型車部門
- （4）中型車部門

開催場所 **中部トラック総合研修センター**

愛知県みよし市福谷町西ノ洞 21-127

TEL：0561-36-1010



Copyright 2026 Yamato Holdings Co., Ltd. All rights Reserved


ヤマト運輸